

1

# 一般動詞の過去形(1)

◆指導ページ P.2～7◆

【主な学習内容】

- 一般動詞の過去の文→過去形の作り方と発音。
- 一般動詞の過去の疑問文と答え方。
- 一般動詞の過去の否定文。

学習内容	補足・留意事項など
<p><b>1 規則動詞の過去形</b></p> <p>☆ 一般動詞の過去の文「～しました」→〈主語+動詞の過去形～〉</p> <p>○ 動詞の原形に -ed または -d をつけて過去形にする(規則動詞)。 彼は毎日テレビを見ます。 → He <u>watches</u> TV <u>every day</u>. 彼は昨夜テレビを見ました。 → He <u>watched</u> TV <u>last night</u>.</p> <p><b>注意</b> 動詞の過去形は主語によって形が変わることはない。 He watched TV yesterday. → I[You, They, Ken] <u>watched</u> TV yesterday.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去の時点を表す語句 <b>例</b> yesterday(昨日), last night(昨夜), last Sunday(この前の日曜日), this morning(今朝), two days ago(2日前)など</li> <li>●過去の文は動詞によって過去形の形が変わるが、主語によって過去形が変わることはないことを理解させる。</li> </ul>
<p><b>2 規則動詞の過去形の作り方と発音</b></p> <p>☆ 規則動詞の過去形の作り方。</p> <p>① 大部分の動詞は, -ed をつける。play → <u>played</u></p> <p>② 発音しない e で終わる動詞は, -d をつける。like → <u>liked</u></p> <p>③ 語尾が〈子音字 + y〉で終わる動詞は, y を i にかえて -ed をつける。 try → <u>tried</u></p> <p>④ 語尾が〈短母音 + 子音字〉の動詞は, 子音字を重ねて -ed をつける。 stop → <u>stopped</u></p> <p>☆ 規則動詞の過去形 -ed の発音</p> <p>① 無声音(f, k, p, s など)のあと…[t ト] helped[helpt ヘルプト]</p> <p>② 有声音(b, g, n, v など)のあと…[d ド] listened[lisnd リスンド]</p> <p>③ [t], [d]のあと…[ɪd イド] wanted[wantɪd ワンティド]</p> <p><b>注意</b> 母音・子音・短母音・無声音・有声音</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子音字とは母音(a, e, i, o, u)以外の文字のこと。</li> <li>・短母音とは「ストップ」などのようにつまる音のこと。</li> <li>・無声音とは発音するときに、息が出るだけで声は出ないもの。</li> <li>・有声音は発音したときに声が出る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発音しない e で終わる規則動詞。 <b>例</b> live(～に住んでいる), love(愛する), arrive(着く)など。 ※ come(来る), give(与える), make(作る), take(取る)などは, 不規則動詞。</li> <li>●語尾が〈子音字 + y〉の規則動詞。 <b>例</b> study(勉強する), try(試す)など。</li> <li>●語尾が〈短母音 + 子音字〉の規則動詞。 <b>例</b> wrap(包む), nod(うなづく)など。</li> <li>●有声音か無声音かの違いを見極めるには, のどに手を当てて発音してみる。のどが振動していれば, 声帯が震えて声が出ているので有声音となる。</li> </ul>
<p><b>3 一般動詞の過去の疑問文と答え方</b></p> <p>☆ 一般動詞の過去の疑問文→〈Did + 主語 + 動詞の原形～?〉</p> <p>① 文頭に Did をおき, あとの動詞は原形にする。 あなたは昨日テニスを<u>しました</u>。 → You <u>played</u> tennis yesterday. あなたは昨日テニスを<u>しましたか</u>。 → <u>Did</u> you <u>play</u> tennis yesterday?</p> <p>② 主語が何であっても Did を使う。 トムは昨日テニスを<u>しましたか</u>。 → <u>Did</u> Tom <u>play</u> tennis yesterday?</p> <p>☆ 一般動詞の過去の疑問文の答え方→ did で受ける。 はい, しました。 → Yes, she <u>did</u>. いいえ, ませんでした。 → No, she <u>did not</u>[didn't].</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去の疑問文, 否定文での注意 過去の文は, 主語に関わらず動詞を過去形にすることで作られる。そのため, 和文英訳などの問題では, 「過去の文にする」という意識から疑問文, 否定文でも動詞を過去形にしてしまいがちになる。初めのうちに繰り返し練習することで, 動詞を原形にすることを身につけさせる必要がある。 [生徒が間違えやすい例] 疑問文 × Did you <u>studied</u> English yesterday? ○ Did you <u>study</u> English yesterday?</li> </ul>
<p><b>4 一般動詞の過去の否定文</b></p> <p>☆ 一般動詞の過去の否定文 →〈主語 + did not [didn't] + 動詞の原形～〉</p> <p>○ 動詞の前に did not [didn't] をおき, 動詞は原形にする。 私は昨日ピアノを<u>ひきました</u>。 → I <u>played</u> the piano yesterday. 私は昨日ピアノを<u>ひきませんでした</u>。 → I <u>did not</u> play the piano yesterday.</p> <p><b>注意</b> did not は didn't と短縮形で表すことができる。</p>	<p>否定文</p> <p>× I <u>didn't played</u> tennis last night.</p> <p>○ I <u>didn't play</u> tennis last night.</p>

2

# 一般動詞の過去形(2)

【主な学習内容】

◆指導ページ P.8 ~ 13 ◆

- ◎不規則動詞の過去形。
- ◎一般動詞の過去の疑問文と答え方。
- ◎一般動詞の過去の否定文。

学習内容	補足・留意事項など
<p><b>1 不規則動詞の過去形</b></p> <p>☆ 一般動詞には、規則動詞と不規則動詞がある。</p> <p>① 規則動詞は、原形に -(e)d をつけて過去形を作る。</p> <p>② 不規則動詞は、不規則な変化をして過去形を作る。 私は毎日公園に行きます。 → I <u>go</u> to the park every day. ↓ go の過去形は went 私はきのう公園に行きました。 → I <u>went</u> to the park yesterday.</p> <p>③ 不規則動詞の過去形も、規則動詞と同じように、主語によって形が変わることはない。 彼女はきのう公園に行きました。 → She <u>went</u> to the park yesterday.</p> <p>☆ 不規則動詞の変化には3通りある。</p> <p>① 母音字が変わる      come(来る) → came      run(走る) → ran ② 全く異なる形になる      go(行く) → went      buy(買う) → bought ③ 同形で、変わらない      cut(切る) → cut      read(読む) → read</p> <p><b>注意</b> read は形は変わらないが、発音が [red] となって変わる。 bought の gh は発音せず [bɔ:t] となる。</p>	<p>●●一般動詞には、規則動詞と不規則動詞があり、生徒にはどの動詞が不規則動詞であるか、またその過去形と発音をまとめて覚えさせる。以下の語はあとの問題で取り扱われている語の過去形をまとめたもの。</p> <p>[代表的な不規則動詞]</p> <p>do(する) → did [did] eat(食べる) → ate [eit] find(見つける) → found [faund] get(得る) → got [gat] give(与える) → gave [geiv] have(持つ) → had [hæd] know → knew [n(j)u:] leave → left [left] make(作る) → made [meid] meet(会う) → met [met] put(置く) → put [put] run(走る) → ran [ræn] say(言う) → said [sed] see(見る, 会う) → saw [sɔ:] sing(歌う) → sang [sæŋ] speak(話す) → spoke [spouk] take(行う, とる) → took [tuk]</p>
<p><b>2 一般動詞の過去の疑問文と答え方</b></p> <p>☆ 一般動詞の過去の疑問文 → Did + 主語 + 動詞の原形 ~ ?</p> <p>① Did を主語の前におき、動詞は原形にする。 彼は昨年ロンドンに行きました。 → He <u>went</u> to London last year. ↓ 原形に 彼は昨年ロンドンに行きましたか。 → <u>Did</u> he <u>go</u> to London last year?</p> <p>② 答えるときにも、did を使う。 はい、行きました。 → Yes, he <u>did</u>. いいえ、行きませんでした。 → No, he <u>did not</u> [didn't].</p> <p><b>注意</b> 疑問文の作り方と答え方は、規則動詞も不規則動詞も同じ。</p>	<p>●●一般動詞の過去の疑問文と否定文の作り方、疑問文の答え方は、動詞が規則動詞でも不規則動詞でも同じであり、いずれも動詞は原形にすることを確認する。</p>
<p><b>3 一般動詞の過去の否定文</b></p> <p>☆ 一般動詞の過去の否定文 → 主語 + did not [didn't] + 動詞の原形 ~ .</p> <p>○ 動詞の前に did not [didn't] をおき、動詞を原形にする。 彼女はきのうここに来ました。 → She <u>came</u> here yesterday. ↓ 原形に 彼女はきのうここに来ませんでした。 → She <u>didn't</u> <u>come</u> here yesterday.</p> <p><b>注意</b> 否定文の作り方は、規則動詞も不規則動詞も同じ。</p>	<p>[規則動詞] I <u>visited</u> Tokyo last year. → Did you <u>visit</u> Tokyo last year? → I <u>didn't visit</u> Tokyo last year.</p> <p>[不規則動詞] I <u>went</u> to Tokyo last year. → Did you <u>go</u> to Tokyo last year? → I <u>didn't go</u> to Tokyo last year.</p>

3

be 動詞の過去形・過去進行形

【主な学習内容】

- ◎be 動詞の過去形。
- ◎be 動詞の過去の疑問文と否定文。
- ◎過去進行形の文。

◆指導ページ P.14 ~ 19◆

学習内容	補足・留意事項など
<p><b>1 be 動詞の過去形</b></p> <p>☆ be 動詞の過去形→主語によって was または were を使い分ける。</p> <p>① 「～だった」, 「～(に)いた」という意味になる。</p> <p>② 現在形が am, is のとき, 過去形は was になる。                  私は今, 東京にいます。 → I <u>am</u> in Tokyo now.                  私はきのう東京にいました。 → I <u>was</u> in Tokyo yesterday.</p> <p>③ 現在形が are のとき, 過去形は were になる。                  私たちは今とても忙しい。 → We <u>are</u> very busy now.                  私たちはきのうとても忙しかった。 → We <u>were</u> very busy yesterday.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語の文を過去の文にするときには, 文中にある be 動詞または一般動詞を過去形にすればよいことを説明する。</li> <li>●be 動詞には「～です」という意味だけでなく「～(に)いる」, 「～(に)ある」という意味もあることを確認する。</li> <li>●I am は I'm, He is は He's, You are は You're と短縮形にできるが, I was や You were などは短縮形にはできない。</li> </ul>
<p><b>2 be 動詞の過去の疑問文</b></p> <p>☆ be 動詞の過去の疑問文→ was や were を主語の前に出す。</p> <p>○ 答えの文でも was, were を使う。                  あなたはそのときここにいました。 → You <u>were</u> here then.</p> <p>あなたはそのときここにいましたか。 → <u>Were</u> you here then?                  はい, いました。 → Yes, I <u>was</u>.                  いいえ, いませんでした。 → No, I <u>was</u> not [wasn't].</p> <p><b>注意</b> Were you ~? の疑問文には, I と was [または we と were] を使って答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●be 動詞の文であれば, 現在の文でも過去の文でも, 疑問文や否定文の作り方は同じであることを確認し, 一般動詞の過去の文との違いを確認する。</li> <li>●be 動詞の過去の疑問文に答えるときには, was や were を使って答えることを説明する。</li> </ul>
<p><b>3 be 動詞の過去の否定文</b></p> <p>☆ be 動詞の過去の否定文→ was や were のあとに not を入れる。</p> <p>私たちは昨夜, 家にいました。 → We <u>were</u> at home last night.                  私たちは昨夜, 家にはいませんでした。 → We <u>were not</u> at home last night.                  マイクはきのう東京にいました。 → Mike <u>was</u> in Tokyo yesterday.                  マイクはきのう東京にいませんでした。 → Mike <u>wasn't</u> in Tokyo yesterday.</p> <p><b>注意</b> was not は wasn't, were not は weren't と短縮形で表すことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●動詞の -ing 形の作り方を確認する。</li> </ul> <p>[ -ing 形の作り方の例 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語尾が発音しない e のとき e をとって -ing ... write → writing</li> <li>・語尾が&lt;短母音+子音字&gt;のとき子音字を重ねて -ing ... sit → sitting</li> <li>・語尾が -ie のとき(未習単語) ie を y にして -ing ... die(死ぬ) → dying</li> </ul>
<p><b>4 過去進行形の文</b></p> <p>☆ 過去進行形の文→ be 動詞の過去形+動詞の -ing 形                  現在進行形... am (are, is) + 動詞の -ing 形「～している」                  彼は今テレビを見ています。 → He <u>is watching</u> TV now.                  過去進行形... was (were) + 動詞の -ing 形「～していた」                  彼はそのときテレビを見ていました。 → He <u>was watching</u> TV then.</p> <p>☆ 疑問文 → 疑問文は was, were を主語の前に出す。                  絵美は台所で料理を<u>していましたか</u>。 → <u>Was</u> Emi cooking in the kitchen?                  はい, <u>していました</u>。 → Yes, she <u>was</u>.                  いいえ, <u>していませんでした</u>。 → No, she <u>wasn't</u>.</p> <p>☆ 否定文 → 否定文は was, were のあとに not を入れる。                  彼はそのとき<u>眠っていませんでした</u>。 → He <u>was not</u> sleeping then.</p> <p><b>注意</b> 過去進行形の文は, 現在進行形の文の be 動詞を過去形にするだけでよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進行形にできない動詞を再確認する。</li> </ul> <p><b>例1</b> 「持っている」という意味の have。                  私は車を2台<u>持っています</u> [いました]。                  I have[had] two cars.</p> <p>※「食べる」という意味の have は進行形にすることができる。                  私はピザを<u>食べています</u> [いました]。                  I am[was] having pizza.</p> <p><b>例2</b> like, think, know, see などの心理状態や知覚を表す語。                  私は彼を知っています [知っていました]。                  ○ I know[knew] her.</p> <p>※「知っている」「持っている」などの日本語は進行形ではないことを説明する。</p>

【主な学習内容】

- 未来を表す be going to
- 未来を表す will

学習内容	補足・留意事項など
<p><b>1 未来を表す be going to</b></p> <p>☆ 「～するつもりである, ～するだろう」の文 →〈主語 + be going to + 動詞の原形～.〉</p> <p>① be 動詞は主語によって is, am, are を使い分ける。 ② to のあとには動詞の原形をおく。 私は毎日数学を勉強します。 → I study math every day. 私はあした数学を勉強するつもりです。 → I <u>am going to</u> study math tomorrow. ↑ 動詞の原形</p> <p><b>注意</b> be going to の go には「行く」という意味はない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●be going to と will はほぼ同じ意味とあるが、厳密には以下のような違いがある。</li> <li>○ be going to 「～しそうだ」「～しようとしている」という意味の「近い未来」を表す場合と、「～するつもりだ」という意味の、前から考えていた未来についての、主語の計画を表す場合がある。</li> <li><b>例1</b> 私は出発するところです。 I <u>am going to</u> leave.</li> <li><b>例2</b> あなたは CD を買うつもりですか。 (前から買う予定があった。) <u>Are you going to</u> buy the CD?</li> </ul>
<p><b>2 be going to の疑問文と否定文</b></p> <p>☆ be going to ~ の疑問文 → 〈be 動詞 + 主語 + going to ~ ?〉</p> <p>○ be 動詞を主語の前に出す。 あなたはあした、京都に行くつもりです。 → You <u>are</u> going to go to Kyoto. あなたはあした、京都に行くつもりですか。 → <u>Are</u> you going to go to Kyoto? はい、そうです。/いいえ、ちがいます。 → Yes, I am./No, I'm not. あなたは今度の日曜日に何をするつもりですか。 → <u>What</u> are you going to do next Sunday?</p> <p>☆ be going to ~ の否定文 → 〈主語 + be 動詞 + not + going to ~ .〉</p> <p>○ 私はマイクを訪ねるつもりはありません。 → I am <u>not</u> going to visit Mike.</p> <p><b>注意</b> be going to の疑問文には、be 動詞を使って答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ will 「～するでしょう」という意味の「単なる未来」を表す場合と、「～するつもりだ」という意味の「主語の意志」を表す場合がある。</li> <li><b>例1</b> 彼はあしたここに来るでしょう。 He <u>will</u> come here tomorrow.</li> <li><b>例2</b> 私はあした彼を訪ねるつもりです。 I <u>will</u> visit him tomorrow.</li> </ul>
<p><b>3 未来を表す will</b></p> <p>☆ 「～するでしょう」, 「～するつもりだ」の文 →〈主語 + will + 動詞の原形～.〉</p> <p>○ will は主語が何であっても形は変わらない。 彼女は毎日テニスをします。 → She plays tennis every day. ↓ 動詞は原形に 彼女はあしたテニスをするでしょう。 → She <u>will</u> play tennis tomorrow.</p> <p><b>注意</b> I will は I'll, you will は you'll と短縮形にできる。 will と be going to はほぼ同じ意味を表す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●be going to のあとに go や come がくる場合には、2つの言い方ができる。</li> <li><b>例</b> 私は図書館に行くつもりだ。 I <u>am going to</u> go to the library. be going to を使った表現 I <u>am going to</u> the library. 近未来を表す進行形を使った表現</li> <li>●will は can, may, must のような助動詞なので、主語によって形が変わることはなく、あとにくる動詞は必ず原形になる。</li> </ul>
<p><b>4 will の疑問文と否定文</b></p> <p>☆ will の疑問文 → 〈Will + 主語 + 動詞の原形 ~ ?〉</p> <p>○ will を主語の前に出す。 彼はあしたの朝出発するでしょう。 → He <u>will</u> start tomorrow morning. 彼はあしたの朝出発するのですか。 → <u>Will</u> he start tomorrow morning? はい、します。/いいえ、しません。 → Yes, he will./No, he will not[won't].</p> <p>☆ will の否定文 → 〈主語 + will not[won't] + 動詞の原形 ~ .〉</p> <p>○ will のあとに not をおく。 絵美はすぐここには来ないでしょう。 → Emi <u>will</u> not come here soon.</p> <p><b>注意</b> will の疑問文には wil を使って答える。 will not は won't と短縮形にできる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●won't の発音は[wəʊnt]</li> <li>●Will you ~ ? には「～してくれませんか」, 「～しませんか」という「依頼」や「勧誘」の表現もある。文の前後を読んで、未来を表すものなのか、依頼や勧誘を表すものなのか判断する。</li> </ul>